



日本に来てオーストラリアとの違いに驚いたことの一つは、中高生の多忙な毎日です。学校や塾、宿題、部活などで朝から夜まで忙しい日本の中高生は本当にすごいと思います。オーストラリアの中高生は全く違います。(あの時の私も含めて。)

では、オーストラリアの中高生の生活はどう違うのでしょうか。中高生の普通の一日をなぞってみましょう。

今日から使える

ひとこと英会話

Lesson 2



オーストラリア人に、「Hello」の次に一言

"How are you going?"

読み方 「ハウ アー ユー ゴイン」

意味 「元気？」

言葉の意味をそのまま和訳すると「どうやって行くの」という意味になりますが、オーストラリアではこのように使います。また、実際には「How ya goin'」(発音は「ハウヤゴエン?」)と崩した形で使うことが多いです。皆さんも、ぜひ使ってみてください!

オーストラリアの中高生の一日常

授業時間が宿題の時間に!?

学校に着くと、教室に行く前に背負っている大きなスクールバッグを自分のロッカーに入れて、テキスト、



ノート、フォルダー、大きな電卓の入った A4 サイズの筆入れを取り出し、授業に持っていきます。(中学1年生は、これを全部運ぶのに苦労しています。)

授業が始まり、先生が宿題の提出を求めると、生徒たちが一斉に「していない」と答え、結局授業で一緒に宿題をすることになります。

昼休みは一大イベント!毎日楽しく過ごします

昼休みを知らせる鐘が鳴ったら、生徒たちは優れた瞬発力で教室を出て、テキストなどをロッカーに戻し、校庭のどこかで弁当を食べるか、カフェテリアで昼ごはんを買って食べます。

食べた後は、グラウンドでフットボールをしたり、ベンチでおしゃべりしたり、図書館でチェスをしたり

と生徒によって異なります。しかし、昼休みの終わりを知らせる鐘が鳴ると、急に足取りが重くなることはみんな一緒です。

放課後はとても大事な自由時間

学校が終わったら友達と映画館に行き、出掛けないときは家に帰ります。部活も塾もほとんどなく、あるのは、学校の交響楽団の練習や土曜日に開校される中国語などの塾、楽器のレッスン、学校外でのスポーツの練習です。しかし、大半の中高生はこの中の一つだけを週一回するか、一つもしない状況です。

中高生の放課後は、趣味やフェイスブックなどのソーシャルネットワーキング、そして暇つぶしに一生懸命取り組む大事な時間です。こうして中高生の一日常が終わります。

国や文化でさまざまな違いはあるけれど...

皆さん、オーストラリアの中高生の一日常はどうか。日本の中高生の一日常とは違うところがたくさんあるでしょう。しかし、国や文化が違っても、昼休みの終わりを残念に思うところはやはり同じなのではないでしょうか。